

令和7年度 第1回学校運営協議会 議事録

実施日時	令和7年5月30日(金) 15:15~16:45
出席者	<p>学校運営協議会委員 4名</p> <p>教職員 12名</p>
議事	<p>(1) 学校長挨拶・委嘱状交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT利活用事業の継続、DXハイスクール事業の継続により、デジタル人材の育成を目指す。 ・4年間の目標(1年間の目標)の確認。 <p>(2) 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副校長より第1回学校運営協議会資料各ページの内容確認 ・出席者自己紹介 <p>(3) 会長の選出</p> <p>会長に梶形中学校校長を選出した。</p> <p>(4) 学校運営について・令和7年度本校の学校教育計画について</p>
質問 意見 要望 回答等	<ul style="list-style-type: none"> ●総務グループ <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板・遮光カーテンの整備・らくらく配信システムの整備をし、教室のLED化により生徒に良い環境に整備することを計画している。 ●教務グループ <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が探究すること、調整すること、他者と協働すること、今年度はさらに生徒が感じた「問い」を推進力とした授業展開を目指す。 ・新設科目(情報Ⅱ)を充実させ、より良い授業づくりを目指す。 ・事故防止に努め、業務を遂行できるよう努める。 ●活動支援グループ <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体となる、体育祭や文化祭等の行事作りを進めている。 ●生活指導グループ <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導と教育相談が大きな柱となっている。 ・昨今は教育相談の割合が増えており、サポートドックの実施結果から、悩みを抱えている生徒のケアに当たっている。 ・校則：生徒心得の見直しを行った。今後も時代に合った内容に変革していく。 ・規則正しい生活の下、健全な生活を送れるよう指導する。 ●進路指導グループ <ul style="list-style-type: none"> ・年間目標「個の適切な進路指導に当たる」 ・上級学校の知識を充実させ、系統立てて指導を行う。 ・1年次：職業観を養う。 2年次：上級学校等調べ 3年次：自分に合った進路選択を通じ、生徒一人ひとりに合わせた進路実現のためのサポートをする。 ●研究ICTグループ <ul style="list-style-type: none"> ・チームで授業作りを改善することを目標としている。授業開発、ネットワーク整備をしている。 ・ICT利活用推進校4年目で一定の成果を得ることができた。 ・生成AIを活用し、研究を進めたもののサンプルを別紙に掲載あり。

<p>議事</p> <p>質問 意見 要望 回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●連携広報グループ <ul style="list-style-type: none"> ・連携事業 <p>榊形中学校との授業連携し、今年度は本校職員が榊形中の授業を見学する。</p> <p>専修大学 1 日体験入学</p> <p>専修大学の教科研修生の受け入れ</p> <p>地域貢献活動で、落葉拾いなどの清掃活動を実施予定。</p> ・広報事業 <p>ICT 利活用推進校という特徴を生かし、中学生に分かりやすく訴求力のある HP 作りや広報活動を行う。</p> <p>(5) 各部会での意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域とつながる共同部会 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩地区防災訓練を榊形中学校で実施した。 ・地域連携の一環で、11 月に近隣の落ち葉拾いを実施している。本年も実施する予定。 ・文化祭の後の流し場の清掃を PTA でお手伝いをさせていただきたい。 →文化祭実施時の校内巡回をお願いできるとありがたい。 ・体育館の耐震工事が 1 月末に終了し、使用再開する。部室などの壁のペンキ塗りは耐震工事業者に対応して頂けない。 →PTA で協力できる所は協力したい。 ・生田東高等学校の卒業生で講演してくれる方に講演をお願いしたい。 →礼儀作法を学ぶこと、負けないで立ち上がることを伝えたい。 ●未来へつなぐ学び部会 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修によって教員が ICT 利活用をする場面が増え、学びの場が広がってきた。 AI をどのように活用するか、どのような人材を育成すべきかを考えて教育活動を行うことが重要である ・増加傾向にある不登校生徒に対応するため、学びの場を増やす必要がある。校内支援センターや、校外支援センターを作り、専門のスタッフが居場所作りをする。 ・コロナ禍の影響でコミュニケーションが取れない生徒が増えた。行事を経験してこなかったため、人の迷惑になる行動を想像したり、集団行動ができないのではないか。 <p>(6)学習活動の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭練習風景 <p>(7)校長挨拶</p>
---	--